

●/人 広報



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸を

お祈りいたします

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます

1 月号

NO.663



新年あいさつ

伊達市農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 哲

新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様方にはご家族共々に新年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。また、昨年一年間、農協事業運営に対しご指導とご協力、ご支援を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

新春を迎えるにあたり、昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻、それらによって世界情勢が激動し、その結果農業の生産資材の高騰・燃料や電気料の高騰に組合員の皆さんが大変苦勞された1年だったと思います。そのような中、畑作・野菜・牧草の収益や収穫に最も悪影響を与えたのは2月の豪雪、春先の早魃その後の長雨、8月の豪

雨、9月以降の天候不順でした。北海道の太平洋側で発生した天候不順はかつて経験したことのないものでした。物価高騰等対し国・北海道庁などからの営農資金対と農協管内の自治体も加えましての飼料・肥料・燃料や電気料の負担軽減対策など多くの対策が出されております。農協としましては、それらの対策を十分に活用し令和5年度の組合員さんの営農がスムーズに進められるように役職員一丸となって対応してまいりますのでよろしくお願ひします。

本年も組合員の皆様のご協力・ご支援をお願い申し上げますと共に、どうか新しい年が組合員の皆様にとって最良の年でありますことをご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。



謹賀新年



副組合長
松本 喬一



理事
遠藤 活典



理事
舟迫 昌光



理事
小野 順孝



理事
唐澤 健康



理事
原 一晴



理事
近井 一夫



理事(学識経験)
上田 孝弘



理事(学識経験)
大友 敏雄



監事
菅原 俊和



監事(員外)
山崎 博司





謹賀新年

伊達市農業協同組合

代表監事 廣瀬啓悦

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆さま方には令和5年の新春をご家族共々迎えられたことお慶び申し上げます。また、日頃からJA事業へのご支援、ご協力いただき、ありがとうございます。本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年も自然災害が各地で発生しました。当地区においては2月の記録的な大雪に見舞われビニールハウスや倉庫、牛舎等に甚大な被害がありました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

春耕期から6月にかけて少雨傾向であり、7月以降は断続的な降雨や曇天、8月の2度に渡る大雨の影響で作土の流亡、作物の水没や病害虫の発生、牧草収穫の遅延など大きな被害を受けました。組合員の皆さまも大変苦労されたと思われま。

農協事業においては、信用部門及び青果部門の大幅な減収や電気料金などの値上がりによる費用の増加で事業利益の計画達成は厳しい状況です。監事会としては各課に事業内容の見直しや経費削減への取り組みを要望し、進捗状況などを定期的に確認しています。当JAはJA北海

道中央会より経営健全化指定を受け、事業利益の安定化が求められています。早期解決に向け理事会に改善要望を提出しています。

昨年、伊達市内では道内2例目となる高病原性鳥インフルエンザは確認され、約14.5万羽が殺処分となりました。当JAにおいても、北海道より作業員の派遣要請を受け、迅速な対応をした上田参事をはじめとした職員約15名の6日間にわたる作業に心から敬意を表します。今後の当JAの大きな力になると思われま。

長引くコロナ禍は想像以上に農畜産物販売に大きな影響となり、ロシアによるウクライナ侵攻や円安、肥料・飼料・エネルギーの高騰は営農や私生活にまで影響を与えています。国策の食料安全保障は様々な政策が示されていますがコスト高に連動しない農畜産物相場の壁があり厳しい営農が続くことが予想されますが、国や道、市の補助事業を活用して行くために様々な情報提供や申請作業をJAが全面的にサポートし、皆さまの創意工夫と努力でこの時代を乗り越えて参りたいと考えております。ご家族共に健康で稔り豊かな出来秋を迎えられますことを祈念し新年の挨拶といたします。





年頭のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所 長 吉 田 忠

新年おめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては希望に満ちた新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。農業改良普及センターにおいても日頃より皆様のご理解とご協力を頂き、今年も無事に新たな年を迎えることができました。

令和4年を振り返ると新型コロナウイルスの引き続き猛威に加え、ウクライナへのロシア侵攻による国際情勢の大きな変化があり、農業においても著しく影響を受けた年となりました。また気象が不安定な年の中で、皆様の努力の積み重ねによって豊穰の秋を迎えることができたことに対し敬意を表します。

さて、令和4年の気象経過、農業生産の状況を振り返りますと例年にない降雪量に見舞われたものの、4月に入り好天に恵まれ作業は順調に進みましたが、6月下旬の長雨、日照不足により農作物の生育に遅れがみられ、8月に入って不安定な気象経過となり、総じて各作物の生育には心労を費やす年となりました。作柄においては耕種作物では収量と品質が平年並からやや不良、酪農では生乳生産抑制、肉用牛では市場価格の下落に転じた年でしたが、前年を大きく下回ることを回避した年となりました。

社会情勢をみますと国際情勢が不安定なことから燃油・資材・肥材・飼料の高騰等が上げられます。今後これらの事案に併せ、労働力の減少やポストコロナを見据えた生産体制を進める必要があります。この対策として、地域で得られる有機質資材活用、スマート技術活用、高い生産性と両立する持続的生産体系などありますが、当地域では農協を核として品質センサーや保冷設備を完備したトマト共選施設の充実により、生産と実需に応じることで廃棄ロスを減らすなど先駆けた取組がなされております。また新たな生産振興策としてサツマイモ栽培に取組

伊達市の新顔作物として、地域所得の向上につながる事が期待され、先を見据えた生産振興に対して私たち普及センターも微力ながら皆様のお役に立ちたいと考えております。

結びになります皆様にとって良い一年となりますようお祈り申し上げますと共に、本年が天候に恵まれ稔り多い一年となりますよう心からご祈念申し上げます新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。
尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。
職員一同



- 登別支所
- 〈総務部〉
- 総務課・審査課
- 〈信用部〉
- 金融共済課
- 営農融資課
- 〈営農生産部〉
- 生産販売課
- 畜産課・営農指導課
- 〈購買部〉
- 生産資材課
- 農機燃料自動車課
- 生活課
- 〈内部監査室〉



令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回JA北海道大会の実践2年

度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われております。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



令和5年度 年始営業日程

	本 所		登別支所	クミカン 窓 口	グリーン センター	機 械 センター	マーケッ ト	授精 生乳 検査
	金融 共済	ATM	ATM					
1月1日(日)	×	×	×	×	×	×	×	○
1月2日(月)	×	×	×	×	×	×	×	○
1月3日(火)	×	×	×	×	×	×	9:30 ～ 17:00	○
1月4日(水)	○	8:30 ～ 17:00	×	×	×	×		○
1月5日(木)	○		×	×	×	×	○	○
1月6日(金)	○	○	○	○	○	○	○	○

ご理解・ご協力よろしく申し上げます。

地区別組合員懇談会日程

令和5年1月10日(火)～14日(土)

※11日(水)を除く

日	時	地 区	会 場
10日(火)	10:00～	中央地区	本事務所2F会議室
	13:30～	東地区	未来館
12日(木)	10:00～	稀府地区	中稀府会館
	13:30～	長和地区	ふれあい館
13日(金)	10:00～	有珠地区	白鳥館
	13:30～	関内地区	関内福社会館
14日(土)	10:00～	黄金・室蘭地区	はまなす館
	14:00～	登別地区	登別支所2F

発行 伊達市農業協同組合(営農指導課編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL 0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

